

【地震関係】

3 大規模地震（松山地方気象台で震度5強以上の地震）が発生した場合

- (1) 登校前 → 自宅待機とする。学校からはMac メール・HPを用いて、その後の対応等の情報を流す。
- (2) 登校後 → 学校で待機させ、通学路等の安全が確認された段階で、順次、保護者確認を行いながら児童の引き渡しを学校で行う。

4 大規模地震にあたらぬ強い地震（松山地方気象台で震度5弱の地震）が発生した場合

学校教職員が通学路等の安全点検を行い、集団登校（授業終了後は集団下校）を行う。その際、Mac メール・HPを用いて学校からの情報提供を適宜行う。

【Jアラート（弾道ミサイル）関係】

5 ミサイル発射の情報伝達があった場合

- (1) 登校前 → 自宅待機とし、続報の情報伝達を確認する。
- (2) 登下校中・登校後 → 直ちに近くに適当な建物（校舎等）の中に避難し、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

6 続報の情報伝達によって

- (1) 日本の領土・領海に落下する可能性がある場合 → 直ちに近くに適当な建物（校舎等）の中に避難し、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
続報が伝達されるので、引き続き建物内に避難しておく。
- (2) 近くにミサイルが落下した場合
 - ア 屋外では → 口と鼻をハンカチで覆い、現場からすぐに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
 - イ 屋内では → 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- (3) 日本の領土・領海の上空を通過した場合
 - ア 登校前・登下校中 → 速やかに集団で登下校するとともに、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡する。
 - イ 登校後 → 通常の教育活動に戻る。

7 その他の注意事項

- (1) 自宅待機中、児童は特別な事情のない限り、家から外へは出ないようにしてください。
- (2) 土砂崩れ、道路通行不可能など、登校に危険を伴う場合は、保護者の判断で自宅待機させてください。その際には、学校に連絡をお願いします。
- (3) 本規程以外にも、状況によっては自宅待機や臨時休業等の対応をすることがあります。その場合には、Mac メール・HPで連絡いたします。
- (4) 携帯やスマートフォンのメールアドレスが変わった場合は、必ずMac メールへの再登録をしてください。

8 お願い

- (1) 非常変災時の電話によるお問い合わせは、学校からの電話連絡に支障をきたしますので、ご遠慮ください。
- (2) Mac メールやHPは、非常変災時には回線が混み合い、機種によっては情報伝達が遅れる場合があります。その際には、本文書を基本に対応していただければと思います。
- (3) 回線の混雑など、状況に応じてtetoruを用いて連絡することもあります。

※ の部分は、今年度変更した部分です。ご確認ください。